

豊中市キャラバン・メイト連絡会

メイト通信

＝ 創刊・第1号 ＝

(編集・発行)

豊中市 健康福祉部
高齢者支援課 地域支援係

豊中市 中桜塚 3 - 1 - 1

☎ 06 - 6858 - 2866

FAX 06 - 6858 - 3611

✉ koureishashien@city.
toyonaka.osaka.jp

平成 27 年(2015 年) 2 月 27 日

超高齢社会を迎えた日本にとって、国家的な最重要課題の一つともなっている「認知症」。マスコミ等でも、連日のように取り上げられており、国民の関心の高さが表れています。

認知症とは、誰にでも起こりうる脳の病気により引き起こされる症状のことで、65 歳以上の高齢者の約 4 人のうち 1 人に、認知症またはその予備群である軽度認知障害があると言われていています。認知症を発症すると、記憶障害や認知機能の低下などから、さまざまな症状がひきおこされますが、周囲の人の理解と心配りや支援があれば、住み慣れた地域で安心して穏やかに暮らすことが可能です。

誰しもが無関係でいることは出来ない「認知症」について学び、認知症のある人やその家族の理解者・応援者である「認知症サポーター」に一人でも多くなっていこうと「認知症サポーター養成講座」を市内各所で開催しています。

認知症のある人が、その人らしく尊厳をもって安心して生活できるまちは「誰もが暮らしやすいまち」でもあります。豊中市では、来年度末までに、市民の 3% の方に「認知症サポーター」になっていこうと目標を立てて、現在取り組みを進めています。

さあ、ご一緒に力をあわせて「認サポの輪」を「わがまち・とよなか」に広げていきましょう！

「認知症サポーター」
とは何ですか？！

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症のある人や家族に対して温かい目で見守る「応援者」のことで、特別なことをする人ではありません。

街角で、職場で、認知症のある人が困っている様子が見えたら「何かお手伝いすることがありますか」とさりげない一声をかけるなど、できる範囲での支援や心配りをお願いします。

「認知症サポーター
養成講座」とは

認知症への正しい理解、認知症のある人の心理や行動、支援や対応する際の心配り、介護家族の気持ちの理解などを、DVD 視聴やスライド等を用いて、おおむね 90 分の所要時間で学習していただきます。

講座を受講して、認知症サポーターになると「認知症の人を応援します」という意思を示す目印である「オレンジリング」を進呈します。

【 認知症を知り 地域をつくる 10 ヵ年 】

～ 認知症サポーター100 万人キャラバン ～

「痴呆」の呼称を「認知症」に変更したことを契機に、多くの人々に認知症が正しく理解され、また認知症の方が安心して暮らせるまちが作られていくよう、平成 17 年度から「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として「認知症サポーター100 万人キャラバン」が始まりました。現在では、全国で約 580 万人の認知症サポーターが誕生しています。この数値目標は平成 29 年度末までに 800 万人と上方修正されました。



この「メイト通信」は、認知症サポーター養成講座の講師役である「認知症キャラバン・メイト」が、認知症サポーターの輪を豊中市内に拡げようと「豊中市キャラバン・メイト連絡会」を立ち上げたことを契機に、「キャラバン・メイトの情報共有」と「市民のみなさん方への広報」を目的にして、不定期に発行いたします。どうぞ、お手にとってご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

「メイト連絡会」 ついに発足しました！

去る2月13日（金）に発足総会が開催され、晴れて正式に「豊中市キャラバン・メイト連絡会」が発足しました。

豊中市内の認知症キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師役）のみなさんに、連絡会の設立と登録を呼びかけたところ、豊中市の登録キャラバン・メイト265人のうち、現在138人の方が本会に入会いただいております。

総会当日は33人のご出席をいただき、和気あいあいの中にも非常に活発な意見交換が行われました。

「オレンジリングでつながる ささえ愛のまち・とよなかをめざして」を連絡会の基本方針として、今後の事業展開を「スキルアップの取り組み」、「メイト活動の支援」、「教材開発・開催先開拓」、「メイト間の連携・交流」の4つの柱としました。

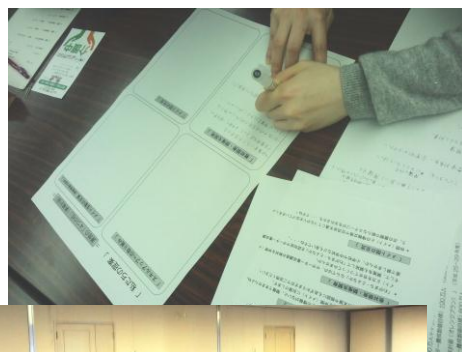
また、企画部会の部会員を募集したところ、5人の方から立候補があり、今後の連絡会運営を中心的に進めていただくことになりました。

ひろがれ！認サポの輪

「認知症を学び 地域で支えよう」

“「オレンジリング」でつながる

ささえ愛のまち・とよなかをめざして“



発足総会での参加者の声・意見など

「スキルアップへの取り組み」

- * 他のメイトが開催している内容を見て学ぶ。介護保険施設の見学や認知症のある人と実際に触れ合う機会をつくるなど、自ら出向き経験することが大切。関係者で練習の機会をつくる。まず始めること、そして何よりも継続していくことが重要。・・・

「メイト活動の支援（開催情報の提供）」

- * 地域での開催希望の情報や会活動の情報発信のためホームページの開設。横のつながりを強くする。市によっては包括ごとにグループを組んでいる。・・・

「教材開発・開催先開拓」

- * 対象別のサポーター養成講座の教材の開発。核家族化が進んでいるので、高齢者の特性を知るためにも、小学生・中学生に受けてもらう。中学生には職場体験先として介護施設に来てもらい、実際に触れ合ってもらうのも良いのではないかと。頭で認知症を理解するより、実際に触れ合っただけの方が良いのではないかと。・・・

「メイト間の連携・交流」

- * 活動報告会などの開催を通じて、情報交換や交流のつながりを広げていく。数か月に1度会合を持ち、連携の体制づくりをすすめる。・・・



※他にも、いろいろと意見が出ました。できることから着実にスピード感をもって活動をすすめていきましょう！

「認サポ」をひろめよう！



国の動向は…

内閣総理大臣の指示のもと認知症施策を加速させるための国家戦略の策定について、関係省庁で新たな戦略の検討を進めてきましたが、このたび厚生労働省より「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）」が公表され、今後、関係府省庁が連携して認知症高齢者等の日常生活全体を支えるよう取り組んでいくことになりました。

なお、地域での応援者である認知症サポーターの養成は、現在全国で580万人を達成していますが、新オレンジプランでは認知症サポーター養成の数値目標が800万人と上方修正されました。

大阪モノレールサービス(株) 「認サポ」の取り組み

大阪モノレールの駅改札業務や構内コンビニ業務を行っている、大阪モノレールサービス(株)では、社員の提案により、認知症サポーター養成講座が全社挙げての研修として開催されました。「お客様への安全・安心・快適なサービスを提供するため」、そして「地域づくりへの企業の社会貢献活動」として取り組んだもので、181人が受講しました。この取り組みを乗客にもお知らせするため、「認知症サポーターがいます」のステッカーを、沿線6市域にわたる全18駅の改札窓口に貼付することになりました。

利用者に、「認知症の人にやさしい駅」への取り組みの企業姿勢と講座の存在を広く周知して、沿線に「誰もが暮らしやすい福祉のまちづくり」を拓げようと取り組みをすすめておられます。

事業所で開催する 「認サポ」応援します！

介護保険施設などで開催される認知症サポーター養成講座の情報を、市のホームページに掲載します。

市民団体などからの開催依頼は、出前講座などでご要望にお応えしていますが、個人で参加できる機会を市内各所に広げていくため、介護保険施設などで開催予定の講座情報を随時掲載いたします。

事業者のみなさまには、講座の開催を通じて施設を地域に開いていくきっかけとして活用していただければ「誰もが暮らしやすいまち」に向けて大きな力になりますので、一層のご協力をお願いします。

市民のみなさまも、ぜひ、市のホームページにご注目を…。(検索方法は、最終ページに記載)



(貼付したステッカー)

「豊中市フェイスブック」 に紹介されました！

大阪モノレールサービス(株)の取り組みが2/24に紹介されています。

また「関西電力(株)フェイスブック」の2/10にも「認サポ」が紹介されています。

⇒どちらにも「いいね！」をお願いします！



連絡会 登録メイト の皆さんにお知らせ

メールアドレスの登録をお願いします

* 各種連絡のため、事務局：高齢者支援課に、事業所のメールアドレスの登録をお願いします。

Koureishashien@city.toyonaka.osaka.jp のアドレスあてに、タイトルを「メイト登録」、本文を「事業所名、名前」と記載して送信してください。

以降、事務局からのお知らせはメール配信いたします。

なお、「認サポ」の開催計画書や開催報告書のデータが必要な方はその旨もお知らせください。

ロバ隊長ピンバッジお渡しします

* 連絡会への入会登録を記念して、会員の襟元を飾る「ロバ隊長ピンバッジ」をお渡ししています。個人でも「認サポ営業」に活用いただければと考えています。

襟元のバッチから「認サポ」の周知を広げる取り組みのメッセージをみんなで発信して、連絡会のメンバーシップを発揮して楽しく活動していきましょう。



【ロバ隊長】

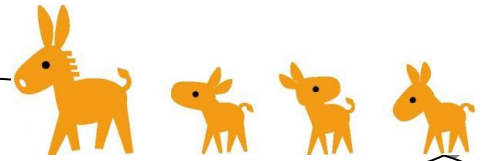
認知症サポーター

キャラバンのマスコット

「キャラバン」（隊商）の隊長として、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」への道のりの先頭を歩いています。ロバのように急がず、一步一步着実にキャラバンをすすめていきましょう。

社会福祉法人・事業者等の責任者のみなさん

この豊中市キャラバン・メイト連絡会の活動については、社会貢献活動の一環と捉え、是非ご理解・ご協力をお願いします！



「市ホームページ」をご覧ください！

「豊中市 認知症サポーター」

検索

* 検索エンジンで、「豊中市 認知症サポーター」で検索できます。「認知症サポーター養成講座」への理解と開催の呼びかけ、地域での開催状況などを掲載しています。



（認知症サポーターのイメージ）

▼ 連絡会の発足にあたり、創刊第1号の「メイト通信」をお届けします。この通信は、キャラバン・メイトのみなさんへの情報提供や交流の場として不定期にお届けいたします。また、我々の活動への理解を深めるため、一般の方へも提供します。▼ 地域に出向いての「認サポ」の開催は、「地域包括ケアシステム」の構築に向けての、「地域掘り起しと種まき」だとの実感がありますね。▼ 夜明けが早くなり、春めいてきた今日この頃。梅の便りも聞かれ、桜が待ち遠しい季節です。お忙しい日々をお過ごしとは存じますが、くれぐれもお身体にはご自愛ください。（直）